

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和5年第40週（令和5年10月2日～令和5年10月8日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第40週は、インフルエンザの1医療機関当たりの報告数が11.40となり、先週に引き続き注意報の基準値である「10」を超えています。インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。これらの症状が現れた場合には早めにかかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話で相談しましょう。また、重症化を予防するため、インフルエンザワクチンによる予防接種を御検討ください（ワクチンの効果が現れるまでに2週間程度の期間を要します）。インフルエンザの感染予防および拡大防止には、手洗いや適切なマスクの着用、三密の回避等が大切です。
- 福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	18	487	238	10,496
腸管出血性大腸菌感染症	10	163	90	2,829
デング熱	2	6	13	113
レジオネラ症	5	68	65	1,687
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	32	13	618
後天性免疫不全症候群	1	36	11	698
侵襲性肺炎球菌感染症	1	61	22	1,306
梅毒	24	706	214	11,260

■ 定点把握疾患報告数

■ : 警報レベル

■ : 注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	924	4.67	0.56	43,705	8.83
インフルエンザ（注意報レベル）	2,257	11.40	0.96	47,346	9.57
RSウイルス感染症	26	0.22	0.79	718	0.23
咽頭結膜熱（警報レベル）	700	5.83	1.02	5,698	1.81
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	411	3.43	1.05	6,194	1.97
感染性胃腸炎	389	3.24	0.74	9,725	3.09
水痘	24	0.20	0.92	321	0.10
手足口病	401	3.34	0.90	5,557	1.77
伝染性紅斑	2	0.02	2.00	32	0.01
突発性発しん	33	0.28	0.85	790	0.25
ヘルパンギーナ	201	1.68	0.75	2,128	0.68
流行性耳下腺炎	3	0.03	0.50	152	0.05
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	11	0.02
流行性角結膜炎	42	1.62	1.00	620	0.89
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	11	0.02
無菌性髄膜炎	1	0.07	-	12	0.02
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.00	21	0.04
クラミジア肺炎	0	0.00	-	1	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	2	0.00

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。